

なみえを 巡る

出初式

1月



毎年1月2日に海上の安全と豊漁を祈願する出初式が開催され、約30隻の漁船が請戸漁港に集います。色鮮やかな大漁旗をなびかせ、大海原へ出港する様子は圧巻です。

うけとがわ 請戸川リバーライン

4月



請戸川の土手、約1.5 km にわたり、およそ120本のソメイヨシノが咲き誇ります。春は絶好の散歩コースとなり、夜にはライトアップされた満開の桜を楽しむことができます。

十日市祭

明治初期から

11月



豊年を祝い収穫物を品評するとともに、冬に向けて生活用品をそろえるための市として始まりました。震災後も二本松市で開催を続けてきましたが、平成29年には7年ぶりに町内に戻り開催。毎年県内外から多くの方が来場し、かつての賑わいが復活しています。

べにふさざくら 紅房桜

3月



町民に親しまれ、町内に春の便りを運んでくれる桜です。釣り鐘型に咲く濃い紅色の花びらは、とても鮮やかです。

相馬野馬追

7月



国の重要無形民族文化財に指定された祭礼です。浪江町は標葉（しねは）郷に所属。中央公園で行われる神旗争奪戦は間近で観戦でき、迫力満点です。

JR 常磐線 浪江駅

東日本大震災に伴う原発事故の影響により、浪江 - 富岡間が不通となっていましたが、2020年3月、約9年ぶりに全線復旧。特急列車は浪江駅にも停車し、仙台や東京へのアクセスが格段に良くなりました。



なみえ産品ガイド

味わおう!

巡ろう!

楽しもう!



福島県 浪江町

浪江町公式
ホームページ



浪江の地域情報
発信サイト
「なみえまるみえ」



浪江町公式
Facebook
「つながろうなみえ」



なみえを 味わう

なみえ焼そば



極太の中華麺に、具はもやしと豚肉のみ。ラードで炒めて、パンチの効いた特製ソースが決め手の焼そばです。ニンニク入りの一味唐辛子をたっぷりかけて熱々のうちに召し上がれ。

東日本大震災以前は、町内に25店舗！なんと細麺の名店もあったんです。



清酒 磐城壽



古くから浪江町では、お祝いの席で振舞われてきた鈴木酒造の「磐城壽」。お正月や結婚式などには欠かせないお酒です。また、誰でも一度は目にしたことがある暁仙和尚の親父の小言。その小言集とコラボしたお酒は、目にも楽しく、お酒好きの方へのお土産として大変人気です。



大堀相馬焼



350年以上の歴史を持つ、国指定の伝統的工芸品です。「青ひび」「走り駒」、また熱いものを入れても持つことができる「二重焼」は、他に類を見ない特別な技法で作られ、一度見たら忘れることのできない逸品です。



石井農園 えごま油



石井農園のえごま油は、丹精込めて栽培したエゴマをじっくりと時間をかけ丁寧に搾取。純度の高さも特徴です。日々の生活に取り入れてみてはいかがでしょうか。



海鮮和食処くろさか 海鮮丼



新鮮なウニやイクラ、マグロなどが贅沢にのった特上海鮮丼がこのお店の一押しメニュー。
※写真は、人気の贅沢丼です。



鈴栄商店 ちりめんじゃこ



明治29年創業の老舗鈴栄のちりめんじゃこは、梅や柚唐辛子入りの佃煮など、これまでのイメージを一新する「創作佃煮」がぞくぞくと登場しています。

かぼちゃ饅頭



代々引き継がれる家庭のおやつ。ふっくらもちもちの皮にねっとりとしたかぼちゃ餡が後を引きまします。イベントで発見したら、ぜひお試しあれ!



常時販売ではありません

なみえを 楽しむ

うけと 請戸漁港



古より続く歴史ある漁港です。



福島いこいの村なみえ

道の駅なみえ



東日本大震災により壊滅的な被害を受けましたが、2019年10月荷捌き施設が完成。4月からは競りの再開を予定しています。

大浴場やカラオケルームを備えた宿泊施設。日帰り入浴やサウナ、屋外ではバーベキューが楽しめます。

2020年7月に浪江のグルメが楽しめるフードコート、2021年1月には酒蔵見学や陶芸体験など特産品に触れることができる施設がオープンします。